

耐震診断現地調査表（精密診断その1用）

特定非営利活動法人

日本住宅性能調査協会

■この調査表は国土交通省監修の「木造住宅の耐震診断と補強方法」に基づいて製作されたものです。

地域コード	診断番号	調査員名	登録番号	現調日 平成 年 月 日 ()
調査物件名	様 邸			TEL FAX
物件所在地	(〒 -) 都 道 区 市 府 県 郡 町	建築年月日 T.S.H 年 月 日		

● 建物形状

構 法	☐ 木造軸組	☐ 2×4	☐ 伝統工法	☐ 混構造(1F RC,S)	☐ その他
建物形状	☐ 平屋建て	☐ 2階建て	☐ 総2階建て	☐ 3階建て	☐ その他
屋根形状	☐ 切妻	☐ 寄棟	☐ 入母屋	☐ 片流れ	☐ 陸屋根

● 地盤の種類 [該当する項目の□にレを付し、必要に応じて注意事項等を備考欄に指摘する。]

地 盤	施されている対策の程度	備 考 欄
☐ よ い		
☐ 普 通		
☐ 悪 い (埋立地、盛り土、軟弱地盤)	表面の地盤改良を行っている	
	杭基礎である	
	特別な対策を行っていない	
☐ 著しく悪い		

● 基礎の形式 [該当する項目の□にレを付し、目立った現象は図面に記載してください。]

基 礎 形 式	状 態	基礎の仕様	備 考 欄
鉄筋コンクリート基礎 (布基礎、ベタ基礎)	☐ 健全	基礎Ⅰ	
	☐ ひび割れが生じている	基礎Ⅱ	
無筋コンクリート基礎	☐ 健全		
	☐ ひび割れが生じている		
玉石基礎	☐ 足固めあり	基礎Ⅲ	
	☐ 足固めなし		
その他の基礎	☐ ブロック基礎など		

● 屋根仕上 [該当する項目の□にレを付し、必要に応じて注意事項等を備考欄に指摘する。]

仕 様	仕様の例	備 考 欄
☐ 軽い建物	屋根：着色セメント瓦葺、鉄板葺、スレート 外壁：ラスモルタル塗り、羽目板、板金、サイディング 内壁：石膏ボード張り	
☐ 重い建物	屋根：棧瓦葺 外壁：土塗壁 内壁：石膏ボード張り	
☐ 非常に重い建物	屋根：土葺き瓦葺 外壁：土塗壁 内壁：土塗壁	

● 外壁仕上 [外壁タイプ No.を図面に記載してください。]

外壁タイプ		仕 様 (下の仕様タイプ欄の番号記入)
外壁タイプ 1 (G-1)	仕 上	()
	下 地	()
外壁タイプ 2 (G-2)	仕 上	()
	下 地	()
外壁タイプ 3 (G-3)	仕 上	()
	下 地	()

● 内壁仕上 [内壁タイプ No.を図面に記載してください。 記入例 タイプ 1 の場合 1 と記入]

内壁タイプ		仕 様 (下の工法の種類の番号記入 筋かいは除く)
内壁タイプ 1 (K-1)	仕 上	()
	下 地	()
内壁タイプ 2 (K-2)	仕 上	()
	下 地	()
内壁タイプ 3 (K-3)	仕 上	()
	下 地	()
内壁タイプ 4 (K-4)	仕 上	()
	下 地	()

【工法の種類】

別紙工法の種類参照 (テキスト P55、56、57)

但し、該当する種類が表の中に無い場合は、実際の仕上、下地の種類を記入してください。

● 筋かい

筋交いの種類を図面に記載してください。 [筋かいマークは別紙を参照]

● 木製筋かいの接合仕様

金物等の種類を図面に記載してください。 [金物等のマークは別紙を参照]

● 開口部の種類

開口部の種類を図面に記載してください。 [開口部の種類のマークは別紙を参照]

● 柱脚柱頭接合部の仕様

接合部の種類を図面に記載してください。 [接合部マークは別紙を参照]

● 水平構面の仕様 (屋根)

屋根仕様 No.を図面に記載してください。 [屋根仕様タイプは別紙を参照]

屋根仕様		仕 様 (下の仕様タイプ欄の番号記入)
屋根仕様 1 (R-1)	面材張り屋根面	()
	火打ち	()
屋根仕様 2 (R-2)	面材張り屋根面	()
	火打ち	()

● 水平構面の仕様（床）

床仕様 No.を図面に記載してください。

〔床仕様タイプは別紙を参照〕

床タイプ		仕 様 （下の仕様タイプ欄の番号記入）
床仕様 1 (F-1)	面材張り床面	()
	火 打 ち	()
床仕様 2 (F-2)	面材張り床面	()
	火 打 ち	()
床仕様 3 (F-3)	面材張り床面	()
	火 打 ち	()
床仕様 4 (F-4)	面材張り床面	()
	火 打 ち	()

● 壁部材の劣化の程度 〔劣化部位、劣化の程度(マーク)を図面に記載して下さい。〕

劣化の程度	劣化マーク	備 考 欄
☐ 劣化が認められない	R 1	
☐ 部材に部分的な劣化が認められる。 (ドライバーが刺さる、部材の腐れが見られるなど)	R 2	
☐ 部材に著しい劣化が認められる。 (ドライバーが簡単に深く刺さる、部材が劣化して接合部の耐力がないなど)	R 3	

● 各部のチェック 〔該当する項目の□にレを付し、必要に応じて注意事項等を備考欄に指摘する。〕

地 盤	備 考 欄
☐ 敷地が傾斜地で、敷地内に盛り土、切り土部分がある	
☐ 建物周囲に、1.5m以上の擁壁がある。	
☐ 付近は液状化の可能性があると言われている地域である。	
☐ 田畑の造成地で、造成後5年以内である。	
☐ 河川・湖沼・池などの埋立地である。	
☐ スウェーデン式サウンディング試験等で、地耐力 30 k N/m ² 以下の層が 3m 以上ある。	

水平構面の損傷	備 考 欄
☐ 平面に凹凸が多い。	
☐ 2 階又は 3 階が荒板などの床で、住宅巾の 1/2 以上の大きな吹抜けがある。	
☐ 短辺が 4m を超える大きな吹抜けがある。	
☐ 2 階の直下に壁がない外周壁が 2 面以上ある。(ただし、枠組壁工法を除く)	
☐ 部分 2 階建てで、2 階の直下部分に壁がない。	

横架材接合部	備 考 欄
☐ 12 畳以上の大きな部屋がある。	
☐ 母屋部分より、下家部分に壁が多い。	
☐ 羽子板ボルトなどの横架材接合部に補強金物がない。	

屋根葺き材の仕様			損傷の可能性	備 考 欄
瓦等	棟瓦	☐ 補強棟	脱落の可能性は小さい	
		☐ それ以外	脱落の可能性が大きい	
	平瓦	☐ 全てを留めつけ	安全です	
		☐ 3～4 弾毎の留めつけ	一応安全です	
		☐ 留めつけなし	脱落の可能性がある	
金属版葺き		☐ 瓦棒等	安全です	

耐震診断現地調査表（精密診断その1用）【別紙】

- 工法の種類
但し、該当する種類が表の中に無い場合は、実際の仕上、下地の種類を記入してください。
- 軸組等の要素基準耐力と要素基準剛性（在来軸組構法用、伝統構法用）

工法の種類		所定の接合金物
土塗り壁	塗厚 5cm 未満	—
	塗厚 5cm 以上 7cm 未満	—
	塗厚 7cm 以上 9cm 未満	—
	塗厚 9cm 以上	—

- 外壁面の要素基準耐力と要素基準剛性（在来構法用、伝統構法用）

工法の種類			断面等	釘	釘の本数または間隔
耐力壁	大壁	きずりを釘打ちした壁	15×45 mm以上	N50	—
		構造用合板	厚さ 7.5 mm以上	N50	150 mm以下、四周打ち
		構造用パネル(OSB)		N50	150 mm以下、四周打ち
		硬質木片セメント板	厚さ 12 mm以上	N50	150 mm以下、四周打ち
		フレキシブルボード	厚さ 6 mm以上	GNF40 又は GNC40	150 mm以下、四周打ち
		石綿パーライト板	厚さ 12 mm以上	GNF40 又は GNC40	150 mm以下、四周打ち
		石綿ケイ酸カルシウム板	厚さ 8 mm以上	GNF40 又は GNC40	150 mm以下、四周打ち
		炭酸マグネシウム板	厚さ 12 mm以上	GNF40 又は GNC40	150 mm以下、四周打ち
		パルプセメント板	厚さ 8 mm以上	GNF40 又は GNC40	150 mm以下、四周打ち
		シーキングインシュレーションボード	厚さ 12 mm以上	SN40	外周 100 mm以下、中間 200 mm以下、四周打ち
		ラスシート	厚さ 0.4 mm以上	N38	—
雑壁	大壁	モルタル塗り			
		窯業系サイディング張り			

- 内壁面の要素基準耐力と要素基準剛性（在来構法用、伝統構法用）

工法の種類			断面等	釘	釘の本数または間隔
耐力壁	大壁	石膏ボード張り(直張り)	厚さ 12 mm以上	GNF40 又は GNC40	150 mm以下、四周打ち
		構造用合板(直張り)	厚さ 7.5 mm以上	N50	150 mm以下、四周打ち
		構造用パネル(直張り)		N50	150 mm以下、四周打ち
	真壁	石膏ボード張り(貫仕様)	厚さ 12 mm以上	GNF40 又は GNC40	150 mm以下
		構造用合板(貫仕様)	厚さ 7.5 mm以上	N50	150 mm以下
品確法準耐力壁	大壁	構造用合板	厚さ 7.5 mm以上	N50	150 mm以下、川の字打ち
		構造用パネル		N50	150 mm以下、川の字打ち
		パーティクルボード	厚さ 12 mm以上	N50	150 mm以下、川の字打ち
		石膏ボード(直張り)	厚さ 12 mm以上	GNF40 又は GNC40	150 mm以下、川の字打ち
		きずり等を釘打ちしたもの	15×45 mm以上		
雑壁	大壁	石膏ボード張り(非耐力壁仕様)	厚さ 12 mm以上	GNF40 又は GNC40	200 mm以下、川の字打ち
		化粧合板	厚さ 5.5 mm以上	N38	200 mm以下、川の字打ち

		構造用合板(非耐力壁)	厚さ 7.5 mm以上	N50	200 mm以下、川の字打ち
		構造用パネル(非耐力壁)		N50	200 mm以下、川の字打ち
	真壁	石膏ボード張り(非耐力壁)	厚さ 12 mm以上	GNF40 又は GNC40	200 mm以下、川の字打ち
		化粧合板	厚さ 5.5 mm以上	N38	200 mm以下、川の字打ち

●軸組等の要素基準耐力と要素基準剛性（枠組壁工法用）

材料	断面等	釘	釘の本数または間隔
筋かい製材	18 mm×89 mm以上	CN65	上下枠・たて枠各 2 本

●外壁・内壁の要素基準耐力と要素基準剛性（枠組壁工法用）

		材料	断面等	釘	釘の本数または間隔
耐力壁	大壁	構造用合板(JAS2 級)	厚さ 7.5 mm以上	CN50	外周部@100、中間部@200
		構造用合板(JAS1 級)	厚さ 7.5 mm以上	CN50	外周部@100、中間部@200
		構造用合板(JAS2 級)	厚さ 9 mm以上	CN50	外周部@100、中間部@200
		構造用合板(JAS1 級)	厚さ 9 mm以上	CN50	外周部@100、中間部@200
		構造用パネル		CN50	外周部@100、中間部@200
		パーティクルボード	厚さ 12 mm以上	CN50	外周部@100、中間部@200
		硬質木片セメント板	厚さ 12 mm以上	CN50	外周部@100、中間部@200
		ハードボード	厚さ 5 mm以上	CN50	外周部@100、中間部@200
		ハードボード	厚さ 7 mm以上	CN50	外周部@100、中間部@200
		シーリングボード	厚さ 12 mm以上	CN40	外周部@100、中間部@200
		ラスシート	厚さ 0.44 mm以上	CN50	外周部@100、中間部@200
		石こうボード	厚さ 12 mm以上	CN40	外周部@100、中間部@200
雑壁	大壁	モルタル塗り			
		窯業系サイディング張り			

- 註 1) GNF40 に代えて、SFN45 でもよい。
2) 石こうボードは、GNF40 に代えて、WSN または DTSN でもよい。

●筋かい [筋交いの種類を図面に記載してください。筋かいマークは以下を参照]

筋かいの種類	筋かいのマーク例		() はたすき掛け
筋かい（鉄筋 9 φ） 端部金物なし	下		上 ()
筋かい（木材 15×90 以上） 端部金物なし	下		上 ()
筋かい（木材 30×90 以上） 端部金物なし	下		上 ()
筋かい（木材 45×90 以上） 端部金物なし	下		上 ()
筋かい（木材 90×90 以上） 端部金物なし	下		上 ()

●木製筋かいの接合仕様 [金物等の種類を図面に記載してください。金物等のマークは以下を参照]

筋かい金物等	筋かい金物等のマークの例
2.0 倍用金物以上	SK20
1.5 倍用金物	SK15
釘打ち（2・N75 程度）以下	SKN

● 開口部の種類 [開口の種類を図面に記載してください。]

開口部の種類	目安の寸法	マークの例
窓型開口	開口高さが概ね 600～1200mm程度	WO
掃き出し開口	開口高さが概ね 1800mm程度	HO
全開口		AO

● 柱脚柱頭接合部の仕様 [接合部の種類を図面に記載してください。接合部マークは以下を参照。]

柱脚柱頭接合部仕様	許容引張耐力 Ta(kN)	マーク
短ほぞ差し	0.0	
かすがい打	1.1	
長ほぞ差し込み栓打	3.8	
L字型かど金物 CN65×5 本打ち	3.4	
T字型かど金物 CN65×5 本打ち	5.1	
山形プレート金物 CN90×8 本打ち	5.9	
羽子板ボルトφ12mm、短冊金物	7.1	
羽子板ボルトφ12mmに長さ50mm径4.5mmスクリュー釘	8.5	
10kN用引寄せ金物	10.0	
15kN用引寄せ金物	15.0	
20kN用引寄せ金物	20.0	
25kN用引寄せ金物	25.0	
15kN用引寄せ金物×2枚	30.0	

● 床仕様タイプ、屋根仕様タイプ [仕様タイプを現地調査表に記入してください。]

		水平構面の仕様
面 材 張 り 床 面	1	構造用合板 12mm 以上股は構造用パネル 1・2 級、根太@340mm 以下落し込み、N50@150 以下
	2	構造用合板 12mm 以上股は構造用パネル 1・2 級、根太@340mm 以下半欠き、N50@150 以下
	3	構造用合板 12mm 以上股は構造用パネル 1・2 級、根太@340mm 以下転ばし、N50@150 以下
	4	構造用合板 12mm 以上股は構造用パネル 1・2 級、根太@500mm 以下落し込み、N50@150 以下
	5	構造用合板 12mm 以上股は構造用パネル 1・2 級、根太@500mm 以下半欠き、N50@150 以下
	6	構造用合板 12mm 以上股は構造用パネル 1・2 級、根太@500mm 以下転ばし、N50@150 以下
	7	構造用合板 24mm 以上、根太なし直張り 4 周釘打ち、N75@150 以下
	8	構造用合板 24mm 以上、根太なし直張り川の字釘打ち、N75@150 以下
	9	巾 180 杉板 12mm 以上、根太@340mm 以下落し込み又は半欠き、N50@150 以下
	10	巾 180 杉板 12mm 以上、根太@340mm 以下転ばし、N50@150 以下
	11	巾 180 杉板 12mm 以上、根太@500mm 以下落し込み又は半欠き、N50@150 以下
	12	巾 180 杉板 12mm 以上、根太@500mm 以下転ばし、N50@150 以下
面 材 張 り 屋 根 面	13	5 寸勾配以下、構造用合板 9mm 以上又は構造用パネル 1・2・3 級、垂木@500 以下転ばし、N50@150 以下
	14	矩勾配以下、構造用合板 9mm 以上又は構造用パネル 1・2・3 級、垂木@500 以下転ばし、N50@150 以下
	15	5 寸勾配以下、巾 180 杉板 9mm 以上、垂木@500 以下転ばし、N50@150 以下
	16	矩勾配以下、巾 180 杉板 9mm 以上、垂木@500 以下転ばし、N50@150 以下
火 打 ち 水 平 構 面	17	火打ち、金物 HB または木製 90×90、平均負担面積 2.5 m ² 以下、梁背 240 以上
	18	火打ち、金物 HB または木製 90×90、平均負担面積 2.5 m ² 以下、梁背 150 以上
	19	火打ち、金物 HB または木製 90×90、平均負担面積 2.5 m ² 以下、梁背 105 以上
	20	火打ち、金物 HB または木製 90×90、平均負担面積 3.3 m ² 以下、梁背 240 以上
	21	火打ち、金物 HB または木製 90×90、平均負担面積 3.3 m ² 以下、梁背 150 以上
	22	火打ち、金物 HB または木製 90×90、平均負担面積 3.3 m ² 以下、梁背 105 以上
	23	火打ち、金物 HB または木製 90×90、平均負担面積 5.0 m ² 以下、